



2021年7月30日

各位

会社名 株式会社 タダノ
 コード番号 6395
 お問合せ先 執行役員 吉田 耕三
 T E L (087)839-5600

特別利益計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第1四半期決算において、下記のとおり特別利益を計上しましたのでお知らせします。

記

1. 特別利益の計上について

(1) 特別利益の計上について

当社は、このたび、ドイツ子会社 Tadano Demag GmbH (以下、TDG) 及び Tadano Faun GmbH (以下、TFG) の現地法に基づく事業再生手続き(注)の終了とともに年金債務等に係る債務免除益等を「欧州事業再生関連収益」として、10,760百万円を特別利益に計上いたしました。

(注) ドイツ事業再生手続きとは、ドイツ倒産法270条bに定められた自己再生手続き(英語ではInsolvency proceedings with self-administration)及び防護的保全手続き(英語ではProtective shield proceeding)を併せて示したものです。

(2) 経緯等

当社は長期目標である「LE(=Lifting Equipment)世界No.1」達成に向けた施策として2019年7月、ドイツのDemagブランドのクレーン事業を買収しました。買収以来、TDGと既存のTFGは統合活動を進め、グループとしてのシナジー効果発揮と早期の黒字化を目指してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって、世界のクレーン需要は停滞し、欧州事業の黒字化に向けた計画にも大きな遅れが生じる見通しが判明しました。また負債総額はTDG・TFG合算で374百万ユーロ(約453億円、2020年6月末時点の財務諸表上の負債総額の合算)となっております。

このような状況を踏まえ、TDG及びTFGは、2020年10月に現地法に基づく事業再生手続きを申請し、2021年4月2日の「ドイツ子会社2社の事業再生計画の現地裁判所による最終承認について」の開示のとおり、ツヴァイブリュッケン裁判所から再生計画の最終承認と公的支援である防護的保全手続き(Protective Shield Proceeding)の終了について通知を受領しました。再生計画の骨子は、①製品ラインナップの更新・合理化および共同開発、②両社の強みを活かした生産体制の垂直統合・調達コスト削減、③人員規模・組織・オペレーションの適正化、④両社の資産有効活用やバランスシートの圧縮、となります。再生計画に沿って欧州事業の再生をスピーディに進め、タダノグループの長期成長につなげたいと考えております。

2. 業績に与える影響

2021年4月28日に公表の連結業績予想に織り込み済みです。なお他の理由により、第2四半期(累計)連結業績予想修正を行いましたので、詳細は本日開示しました「2022年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」、「2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 当該子会社の概要

(1) TDG

名称	Tadano Demag GmbH
所在地	Europaallee 2, 66482 Zweibrucken, Germany
代表者	Jens Ennen
事業内容	建設用クレーン等の製造販売
資本金	20百万ユーロ

(2) TFG

名称	Tadano Faun GmbH
所在地	Faunberg 2, 91207, Lauf a. d. Pegnitz, Germany
代表者	Jens Ennen
事業内容	建設用クレーン等の製造販売
資本金	45百万ユーロ

以上